

令和5年度第1回恵那市市史編さん委員会 会議録

日時：令和5年6月9日(金)15時30分～
場所：恵那市役所 会議棟 大会議室

-
- 1 開会
 - 2 教育長あいさつ
 - 3 委員の委嘱、任命
 - 4 委員長あいさつ
 - 5 議事
 - (1) 副委員長の選出
 - (2) 「恵那市史 平成合併編」に関する令和5年度の計画等について
 - (3) 現在の進捗状況の報告
 - 6 閉会
-

1 開会

■事務局 お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。ただ今から「令和5年度第1回恵那市市史編さん委員会」を開催いたします。

私は、事務局を担当しております恵那市教育委員会事務局 生涯学習課長の柄澤です、どうぞよろしくお願いいたします。

(会議資料の確認)

会を始めるにあたり、本日の進行内容を説明いたします。本日は一点目に、欠員となっている副委員長の選出をしていただきます。二点目に、恵那市史編さんについての令和5年度予算に基づく事業計画の承認、三点目に、恵那市史編さん事業についての現在の進捗状況を報告させていただきます。

なお、本日は概ね1時間程度の会議を予定しております。よろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ

■事務局 それでは、次第2、恵那市教育委員会教育長 岡田庄二よりごあいさつを申し上げます。教育長お願いいたします。

■教育長 貴重なお時間をいただき、お集まりいただきまして、ありがとうございます。専門委員の方たちの話を聞いていますと、かなり資料収集や原稿の執筆が進んでいるということでございますけれども、やはり、各地域自治区の思いや姿が、正確に記載されるということが大切になりますし、これができたときに市民の皆様が、気持ちひとつになって良かったな、ということを実感していただけるような冊子になるといいなということを感じております。ぜひ、今日、それぞれの地域自治区の思いも含めまして、お話をいただき、着実に専門委員の人が進んでいけるようにしていただければと思う次第です。

年明けに、最終原稿に近いものが提示されて、みなさんにもご意見をいただきますが、書くべき期間がありますので、この時点で執筆の方向を定めるためにも、いろいろとご意見いただければと思います。本

日はよろしくお願ひいたします。

3 委員の委嘱、任命

■事務局 ありがとうございます。続きまして、次第3、委員の委嘱、任命ですが、役員改選や人事異動により、変わられた9名の方のお手元にお配りさせていただきました。任期開始日と委嘱日は、各役職の就任日となりますのでご了承ください。編さん事務が終了する令和6年度末となる令和7年3月31日までの期間となりますが、よろしくお願ひいたします。

ここで本来なら委員の皆様にご自己紹介をいただくところですが、時間の都合上割愛させていただきます。あらかじめご了承ください。

4 委員長あいさつ

■事務局 続きまして、次第4、委員長あいさつですが、委員長である丸山様からごあいさつをいただいた後、引き続き議事の進行に移っていただきたいと存じます。

それでは委員長の丸山様、ごあいさつをお願ひいたします。

■委員長 第一回の編さん委員会が、昨年行われましたときに、「恵那市史 平成合併編」という名称をつけていただきました。今後の恵那市史が続いていく、望みのある名称をつけていただきました。この20年間、みなさんが良い市にしようと知恵を絞ってこられた歩みのまとめをして、次のステップへの踏み台にできる、ということでございます。この20年間近くで、5万6千人の人口が、4万7千人に減っております。日本全体が減っておりますが、減り方が皆さんの努力でゆるやかになっています。この合併編が、皆さんの努力が十分盛り込まれているものになるよう、ご意見をいただきながら、執筆を進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

それでは、議事事項に添って進めますのでお願ひします。

5 議事

(1) 副委員長の選出

■事務局 生涯学習課の三宅でございます。議題の(1)副委員長の選出でございますが、副委員長であった前川委員の役員交代により、今のところ欠員となっております。そのため、「恵那市史編さん委員会設置要綱第5条2項」に基づいて、副委員長は、委員様の互選によって選出することになります。

■委員 委員長に一任でお願ひします。

■委員長 ただ今、委員長に一任とご意見をいただきましたので、和仁誠様にお願ひしたいと思ひます。

■委員長 和仁副委員長から、一言あいさつをお願ひします。

■副委員長 今回、副委員長となりました、和仁と申します。丸山委員長のもと、編さん委員の皆様と、市史の完成に向けて、まだ少し補正が必要な部分もあろうかと思いますが、後世に誇れる内容にしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

■委員長 ありがとうございました。

(2) 「恵那市史 平成合併編」に関する令和5年度の計画等について

■委員長 続いて議事(2)「恵那市史 平成合併編」に関する令和5年度の計画等について、事務局から説明をお願いいたします。

■事務局 (資料に沿って説明)

(資料1) 編さん委員、事務局の名簿 説明

(資料2) 事業の概要、編さん専門委員の名前、経歴の紹介

監修者の名前、経歴の説明

市史完成までの計画を説明

予算の説明

(資料3) 要綱の説明

〈検討事項〉

■事務局 次に、検討事項といたしまして、市史の表紙をどういったものにしていくか、考えていただきたいです。市史というのはこういった箱に入ったものが一般的です、これが、オーソドックスな形の上矢作町史になります。この他にも、ハードカバー型の、書籍のような形での提示の仕方もあります。みなさまの方で、やはり市史だから箱に入ったものが良いとか、手に取りやすい方が良いとか、ご意見があれば伺いたいです。この場で決めていただくことができればと思いますが、いかがでしょうか。

■委員長 前の市史は、箱に入っていましたよね。どうですか。

■副委員長 見本の上矢作町史と比べて、ページ数に差はありますか。

■事務局 350 ページですので、見本の半分くらいの厚さです。

■委員 1300 冊を印刷されるということで、先ほど内訳を言われましたが、もう一度教えていただきたいです。

■事務局 内訳を申し上げます。式典で配るものが 800 部、県内外の関係自治体に 187 部、編さんの関係者・協力者に 64 部、市内の施設に 55 部、保存用に 30 部、販売用に 100 部、合わせて 1236 部になり

ますので、繰り上げて1300部、というように考えております。

■委員長 販売部数が100部ということで、なかなか今、本を買ってくれませんから、少ないですね。金額はどうなりますか。

■事務局 金額はまた、精査していくことになります。

■委員長 ほかに質問はありますか。

■委員 一冊当たりの単価は、箱入りのものと、厚表紙のもので、どのくらい差がありますか。

■事務局 箱型になると、やはり箱の分がかかってくるのと、表紙の生地が、布生地になっていますので、やはりこちらの（箱型の）方が割高になります。

■委員 「市内の施設」というのは、小中学校、学校関係になりますか。

■事務局 55部の中には学校関係も考えております。

■事務局 小中学校、それからコミセン、中央図書館の方に数冊置くことを考えております。

■委員 毎日これを見直すという人は、少ないと思います。一度見てしまえば、これだけの歴史があったなあ、ということだけでしょうから。歴史をこれから学んでいく方のいるところに置かれたほうが、目を通されて良いのかなと思います。家庭に置くと、後から見返すということは非常に少ないと思います。

■事務局 ありがとうございます。

■委員 前の恵那市史と同じようなタイプで良いのではないですか。並べて置くことを想定すると、この巻だけ（箱がない）、というのは変ですから。

■委員長 やはり箱があった方が良く。配るのは、市内の小中学校ですか。

■事務局 はい、小中学校と、高校にも配ります。

■事務局 一冊ずつ配る予定です。むしろ、私どもの方では、子どもたちにはタブレットを配布しておりますので、それを使って学習のときには、ウェブに載せた方を活用していただけたらということを考えております。

■委員長 図書室とか、よく校長室には置いてあるんですけどね。学校には複数置いてほしいと思いま

す。

■事務局 わかりました。では、そのようにいたします。

■委員長 今の、検討事項については、このような形でよろしいですか。

■事務局 はい。箱の方でということですね。以上になります。

■委員長 いかがでしょうか。ご意見等は…

■委員 戻るけど良いですか。内訳には、市内の欲しいというご家庭に配るという分も入っていますか。

■事務局 100部、販売の分も入っています。

■委員 800部、配るとするのは、どういう人に対してですか。

■事務局 式典に、こちらが招待した、県内の市町村の代表です。県外についても、嚶鳴協議会ですとか、こちらのお付き合いのある自治体をお招きする予定です。それから、あとは、市内の、各種団体の長の皆様、まだ確定しているわけではございませんけども、ほぼもれなく分野の方にもご案内が差し上げられると思います。それから、表彰を行っておりますので、表彰の対象の方もご出席いたしますので、その方たちも含めて、ざくっとまとめて800部という数です。

■委員長 一般家庭はなかなか買ってくれない。大垣市史も、注文が来ません。良いもので、魅力がいっぱいあるんですが。まだ時間はありますから、動向を見ながら、販売数は対応していただければと思います。

(3) 現在の進捗状況の報告

■委員長 では、レジュメの資料4のところで、みなさんの目を通して、原稿ができてきているということで、みなさんにも責任があるということですので、よろしく願いいたします。議事の(3)現在の進捗状況の報告をお願いします。

■事務局 それでは、議事(3)の、現在の進捗状況について説明させていただきます。ここで使うのが、事前にお配りさせていただいた、資料4です。この資料4はどのようなものかといいますと、全体の構想案といたしまして、小見出し・目次は昨年度、合併に関わる重要事項を、各地域や各部局から報告いただいて、それを元に編さん委員会にて作成したのになります。この中で、重複する項目があったかと思いますが、各分野のそれぞれの視点でまずは書く、まず執筆をするということで進めていただいております。各委員が担当項目ごとに調査、執筆作業を進めて、監修者を交えた編さん専門委員会にて、原稿を持

ち寄り、内容確認や意見交換を行っている次第です。市史全体のバランス調整等により、最終的には監修者の丸山先生に、小見出し等を適宜変更していただく場合もございます。4月に開催した専門委員会では、全体の半分程度原稿が提出されている感じとなっております。調査、執筆活動を進める段階で、地域の方に聞き取りや資料等が必要となる場合もございます。そういった場合には、委員の皆様や振興事務所を通じて、地域の方に協力を得ていきたいと考えている次第です。

(第二部、第二章)第五節地域計画と活動については、地元の内容になるかと思えます。この中で、項目が足りない、増やしてほしいというご意見もあるかと思えますが、先ほども申し上げました通り、これは通史編ではなく、今回編さんするのは、合併編ということでございますので、入れてほしい項目は多数あるかと思えますが、合併に直結した項目を地域から挙げていただいたということでございます。その中で、第五節、地域計画と活動ということで、各地域に四点ほどの項目を挙げさせていただいている次第でございます。

(資料4 全体構想案 各項目の説明)

■委員長 ただ今、説明をいただきましたが、質問や意見はございますか。

■委員 (資料4の)3ページのところですが、「中野方地区の計画と活動」というところで、項目が挙がっておりますが、言葉足らずのところがありまして、直していただきたいと思っております。そういったことはまだ可能でしょうか。

■事務局 大丈夫です。多少でしたらこの場でお聞きしますし、たくさんありましたら、紙に書いたものをいただければ。

■委員 では、後から。ちなみに言うと、「ふれあいセンター開設」とありますが、ふれあいセンターはどこでもあります、中野方のものは「ふれあいセンターまめの木」と言います。そういったところがほかにもございますので、お願いしたいところがございます。せっかく残す市史ですから、町民の人が見たときに、これは言葉が足りないとか、正式名称じゃないとか、言われることを避けたいので、きちっとした名称で出していただきたい。以上です。

■委員 振興事務所のリニューアルをしてもらったのですが、「コミュニティセンター大規模改修」と、(目次に)出ている地域と出ていない地域とがあるけれど、整合性がどうなるのかなということが一点。もう一つ、8ページにも3ページにも「コミュニティセンター」の項目があって、これとこれの関連というのは、どういうものですか。整えた方が良くはないかなと。

■事務局 先ほども申し上げた通り、項目が違うところで、各視点で書いてもらうということです。その中で、完全に趣旨が一致しているところは、整えていくことになると思います。まずは執筆者の方に書いてもらいたいです。

■委員 何の違いがあるのですか。載せるものが違わないのなら、どちらかにまとめた方が良くないと思

ます。

■事務局 先ほども申し上げましたが、地域の方から、ベスト 10 と言いますか、大きな項目を挙げてもらって、そのときの分野の中で、政治行政の方で挙げてきたものもありますし、文化の方と両方に来ているものもあります。まずはそれを尊重して、ひとまず両方で書いてもらっていますが、結果として内容が同じになるなら、執筆者間で調整をいたします。最終的な結果、まとめたものは次回の 2 月に予定しております委員会の方でお示ししたいと思います。まずは、たくさん書いてもらうことが優先ですので、まずは調整をせずに、それぞれの委員さんにお任せしております。ということで、その調整をもう少しお待ちいただけたらと思います。

■委員 全体の構成というか、レイアウトのことで、専門委員会の方々が、いろいろな資料を収集してくださっていると思うのですが、そうした図表やグラフが三部に集められると思いますが、一部や二部の中にも写真などをたくさん入れていただいて、ビジュアルと言いますか、見て楽しいものにしていただきたい。本来市史というものは、歴史研究という意味で価値あるものですが、恵那市が取り組むのは、もう少し大衆的というか、20 年の歩みをみんなで喜び合って、21 年目も頑張っていくぞ、というようなものだと思います。市民の人にとって、見やすい、親しみやすいものにしてくださると良いなと思います。これは串原村が閉村したときに作った記念誌ですが、口絵の写真なんかでも、中山太鼓や中山神社など、写真が 16 ページ入っていますし、中身を見ても、一ページに一枚は写真が必ず入っています。全ての市民が読んでくださるとは思いませんけど、読んでくださるお年寄りの人や、合併に携わって一生懸命やってきた人や、新市のまちづくりに貢献した人や、そういった方に読んでもらって、いろいろみんなで話し合ってもらいと良いなと思うので、ビジュアルにしてもらいたい。字ばっかりにはしないでいただきたい。

■委員長 前回の専門委員会的时候も、写真や図を載せたい、広報の記事を載せたい、という話で、それを載せだしたら、割り当てのページ数がなくなってしまう。ビジュアルにしたいというのは皆さん同じでございます。なかなか図表もページを食いますので、載せたいけれども載せられない。

■委員 来年の 2 月に第二回の編さん委員会が開催されて、そこで内容を読み、チェックするということですが、スケジュール的に（事前に）読めるような状態であるのか、ここへ来て、いきなり会議でわつと出されるのか、どちらですか。

■事務局 いきなり出されては困ってしまわれますので、事前に専門委員会で、ある程度の体裁は良いだろうと判断されたら、事前に送付させていただきます。

■委員長 事前に読んでいただけるようにしたいですね。

■委員 みなさん、自分の住んでいるところに一番関心があるのでしょうか、先に言われた 3 ページを見ると、テーマにばらつきがあつてですね。私は三郷町ですけど、この前、医療関係でへき地と言われ

ましたけれども、へき地ですから、テーマが少ないですね。大井町や長島町は、八つある。このバランスが、先程コミュニティの所長が出したというお話でしたけれども、こういうのを統一するという話はなかったですか。

■事務局 先ほど言った、重大ニュース、というくくりで出しましたので、その範囲の中で書いていったものが今載っているということですので、今後執筆に当たり、ボリュームが増えていくということもあるので、また、丸山先生と専門委員会の方でお諮りして調整しようと思います。

■委員長 地域のバランスを考えながら書いていただけると良いと思います。お待ちください。

■副委員長 第一回に、各地域事務所、振興室に、出してくださいとお願いをしているので、出されたようになっていきます。差はつけてありません。各地域自治区から出されたものですので、もし、追加で、ということであれば、書面で出していただくようお願いいたします。

■委員長 ほかにいかがでしょうか。

■委員 ○○委員がおっしゃったような見せ方に是非していただきたい、というのと、できれば大きな文字にしていきたい。先ほど平林先生がおっしゃったように、読み込ませるものなのか、簡単に見てもらうものなのか、という兼ね合いを考えて、見てわかるようなものにするなら、文字ばかりだと、一遍読んだら積んでおく、というようになってしまうので、それはもったいないと思います。あと、各地の特徴的な地名や、次米などの特徴的な言葉がありますが、ルビについては考えられていますか。

■事務局 もちろん見にくいものとか、難しいものに対しては、専門委員会の方で判断していきながら、ルビを振ることも当然考えなきゃいけないです。

■委員 あと、本文の中に写真を入れるということは、その部分は、当然カラーで出てきますか。

■事務局 中は白黒の予定です。

■委員 第三部の資料は、フルカラーですか。

■係長 そこも白黒の予定です。

■委員長 事務局で、青少年向けのものも計画していらっしゃいます。ページ数の中で納めないといけないので、そんなにはビジュアルにはできない、中身が無くなってしまいます。ビジュアルにしたいという思いとの兼ね合いを考えながら、ですね。

■事務局 補足しますと、先ほど、ウェブの方で公開したいと言いましたが、そちらの方は写真はカラー

になります。元の写真は大半がカラーですので、そのまま使わせていただいて、カラーで公開するということになるかと思っています。それから、デザイン的に見えるようにするというお話は、これだけのメンバーだと荷が重いので、印刷業者の方に入札をかけますので、その中で、見やすいレイアウトを印刷業者に提案してもらいながら進めていきたいと思っています。

■事務局 ちなみにレイアウトについて、先ほど聞かれましたが、当方で考えているのは、30字掛ける20行の二段で、字の大きさは10.5ポイントです。

■委員長 本の大きさは、この原稿よりも小さくなりますね。ほかに、どうでしょうか。

■委員 はい。第一章の、市町村の規模というところがございますけれども、それぞれの自治体ごとに書いてございます、一から七の沿革まで項目がございますけれども、こここのところに、例えば、当時の役場の職員数ですとか、予算規模等、合併前の自治体の状況が分かると、合併してどうなったかということが分かると思いますので、そういったところもお願いいたします。

■事務局 ありがとうございます。

■委員長 ほかによろしいでしょうか。

ご意見を受け止め、執筆者に届くようにしていきます。それでは、これでよろしいでしょうか。追加や訂正のあった方は、こちらの事務方とやり取りしていただくよう、よろしく申し上げます。以上で本日は終わりますので、司会の進行をお返しします。

6 開会

■事務局 丸山委員長、誠にありがとうございました。委員の皆様、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今回の合併編、手に取って読んでもらえるようなものにしていきたいと思っています。今後、専門委員が執筆を進める上で、地域の方に聞き取り等お願いすることもあると思います。みなさまにはご協力いただきますよう、お願いいたします。

それでは、これにて「恵那市 市史編さん委員会」は終了とさせていただきたいと思っています。閉会のあいさつを和仁副委員長様にお願いします。

■副委員長

貴重なご意見をたくさんいただきましたので、ご意見を反映した市史にさせていただければなと思います。最終は、来年の2月ですかね。そこまでに、機会があれば、編さん委員も閲覧できるような形で、見せていただければと思います。今年度一回目となる、編さん委員会、これにて終了いたします。ありがとうございました。